

# UHF帯金属対応タグ **LogiFlex®**

## 資産管理のシステム化とICタグの導入により 管理作業を効率化



ICタグは離れた位置からも  
情報を読み取り可能



品名・管理番号を  
印刷したラベル付タグ

金属タグで長距離通信を実現。  
病室内のタグを一気に読み取り。  
車椅子など、湾曲した部位へもしっかりと接着。  
柔軟素材で安全。  
高い防水性で水が掛かっても使用可能。

採用タグ	MT-S1	管理対象物	病院内備品(ベッド・テレビ・絵画等) 病院内機材(ME機器等)	採用ポイント	長距離通信 可視化対応可能
導入枚数	約1万枚				

### 課題1

#### 院内で保有している ME機器や備品を 把握できていない

使用時に見つからず再購入が相次ぎ  
同じ機器を過剰に保有しているので  
備品を保管する場所に悩むことになった。

### 課題2

#### 資産に関する情報を 病院全体で 共有する体制が 整っていない

院内で多数の管理部門があるため、  
情報共有が難しい。  
管理担当は日々の業務でいっぱいとなり  
きちんとした管理ができない。

### 改善POINT

#### 1.全資産を把握

保有するME機器、  
ベッドやキャビネットなどの  
医療用家具や備品を  
全てデータ化

#### 2.病院全体で情報共有

データ化した内容は、  
どのフロア、どの病棟からも  
確認が行える状態にする。

#### 3.管理業務の簡略化

誰でも、手軽に・  
スピーディーに  
管理業務を行える  
仕組みにする

### 導入効果

#### RFIDの導入により 全スタッフが病院内の資産を把握でき 管理作業の負担が軽減した

資産データは院内で共有化され、必要なME機器の利用状態や他フロアの未使用機器の確認が各々で簡単に行えるようになった。また、病室の移動や一時的な措置によりキャビネットなどの置き場所がわざわざ本來あるべき場所へきちんと戻すことができるため機器や備品の紛失・再購入の頻度も目に見て減ってきており、資産はICタグで管理され、これらを読み取るRFIDリーダーの操作はシンプルであるため、業務に支障なく誰でも簡単にスピーディに棚卸ができる体制を整えることができた。

### 今後の展望

#### 管理システムと利用ルールを 予算の有効利用へつなげる

計量的でムダのない資産購入ができるよう、利用履歴を主とした資産情報を役立てる。また、紛失による再購入をなくすよう、利用ルールを徹底していく。